

平成27年度福島県立相馬養護学校 タブレット端末を活用した地域との連携事業（2年次）

平成27年度公益財団法人福島県学術教育振興財団助成対象事業

＜事業の紹介＞ 「1学期後半から2学期前半までの各学部における取組を紹介します。」

【7月15日：異文化交流会（中学部）】 ※タブレット端末（以下：端末）



A L Tの先生と端末を使ってゲームを行いました。生徒が画面のイラストに触れると英語の音声流れ、先生とのコミュニケーションを深めることができました。

【8月3日：平成27年度 第3回特別支援学校作業技能大会（高等部）】

作業班ごとの製品PRでは、端末を使って行いました。展示コーナーでも端末で作業学習の様子を紹介しました。製品は、カレンダーが最優秀品質賞となり、その他の作業班でも金賞・銀賞等を受賞し、生徒たちの学習の成果が認められました。



【8月17日：熊本県東日本被災地交流研修会（高等部） ※熊本県内の特別支援学校高等部生徒2名との交流会】



遠路熊本県からきた2名を徒会役員が出迎えて交流を行いました。端末をテレビにつなぎ、本校高等部の学校生活の紹介と震災時の様子を説明しました。その後、福島の方言当てゲームなどで交流を深めました。

【9月24日：異世代間交流（高等部）】

高等部生徒が地域の介護老人保健施設ベテランズサークルに出掛けて行き交流しました。学級ごとに端末に記録した学校生活の様子を見せたり、ランプやビンゴなど生徒たちが準備したゲームを行ったりしながら交流を深めました。



【10月2日：相馬市立桜丘小学校4年生との交流会[2回目]（小学部）】



本年度2回目の交流会でした。事前に1回目の交流を端末で見たり、もらった招待状を手にして期待感を高めたりしていました。

本校での「歓迎の言葉」はボタンを押して端末から音声を出して行いました。両校を会場にして、ボールや遊具などでたくさん体を動かして遊びながら交流し、1回目よりもさらに仲良くなりました。

